



「ふるさとを愛し、
生きていく力を育む萩っ子」の育成を目指します

「黄金の期間」(2月27日学校朝会校長講話より)

校長 河村 康郎

令和6年2月韓国・釜山の会場で卓球・世界選手権、通称、世界卓球が行われました。今回は、女子団体戦に出場した張本美和選手についてお話したいと思います。張本美和選手は、現在、15歳、中学校3年生です。萩中生の皆さんと同じ中学生です。

今回の世界卓球で、張本美和選手の活躍に大いに注目が集まりました。特に、準決勝で対戦した台湾戦では、セットカウント0-2から、3セットを連取して大逆転を収めました。そして、迎えた決勝戦、相手は世界一の中国。張本選手は、1番手と5番手に2回出場しましたが、惜しくも2試合とも敗れました。結果、日本は団体戦で中国に敗れ、53年ぶりの金メダルまであと一步届かず、銀メダルとなりました。

試合を終えた張本選手は目に涙を浮かべていましたが「たくさんの試合に出させてもらった。今は、ただただ悔しい気持ちでいっぱいなので、これからは、ただただ頑張るだけかなと思います。」とコメントしました。これまでも、相当な努力をしてきたであろう張本選手ですが、この経験を経て、さらに努力を重ね、強くなるのではないかと思います。

この夏、パリオリンピックで、金メダルを目指し、再び中国と対戦するまで、張本選手や日本の選手がどれくらい成長するのか、楽しみです。

先日、あるテレビ番組に出演していたバイオリニストでタレントの高嶋ちさ子さんが子育てについて話していました。高嶋さんといえば歯に衣着せぬコメントで有名ですが「お金がある人もない人も平等にあるのが時間。24時間どう使うかで君たちの将来は決まっている」「こどもの20歳までの成長はすごい、君たちの時間はお金にかえがたいくらい大切。」高嶋さんの息子さんはチェロを学んでいるそうです。その息子さんに対して「私が半年、バイオリンを一生懸命練習しても、音はたいしてかわらないけど、あなたが半年間、一生懸命練習したら、どれだけ音が変わるか」という話をしたそうです。

終わりに、張本選手にも、皆さんにも同じ時間が与えられています。これからの半年間、どのように過ごすかで、中学生の皆さんも大きく変わります。今、皆さんは「黄金の期間」を過ごしています。まだ、「はじめの一步」を踏み出していない人は、ここから始めましょう。

☆保護者の皆様へ

現在、1, 2年生は3年生を送る会に向けて、準備を進めています。ご家庭での感染症対策のおかげで、大きな流行なく、ここまで来られたことに感謝申し上げます。3年生が高萩中を巣立つまで、あと少しとなりました。引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

